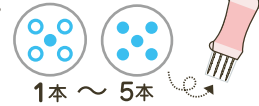


58-603  
フェルトパンチャー  
<5本針>



羊毛やフェルトを布地に刺しつけるときなど、  
広い範囲の作業に便利です。

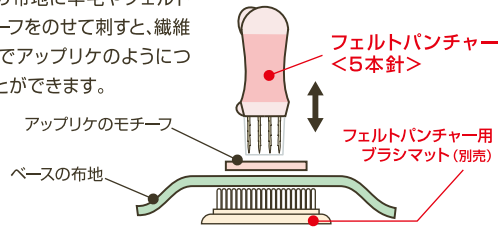
用途に合わせて針の数を  
チェンジできます。



**使い方**

ベースの布地に羊毛やフェルト  
のモチーフをのせて刺すと、繊維  
が絡んでアップリケのようにつ  
けることができます。

針先は大変鋭利のため、  
危険です。十分に注意し  
てください。



※ 別売の「フェルトパンチャー用ブラシマット」を必ずご使用ください  
（「フェルトパンチャー用スポンジマット」は使用できません。）

アップリケのモチーフ	アップリケするベースの布地
○ 羊毛(クロバー「バフウール」など)	○ ウールの織地・編地
○ フェルトシート(ウール50%以上)	○ フェルトシート(ウール50%以上)
○ ウールの毛糸や編地	○ 綿の織地・編地
○ ウールの織地	○ フェルトシート(アクリルなど)

※ ポリエステルなどの化繊は繊維が絡みにくい場合がありますので、事前にお試ください。  
※ 繊細な素材(シルク・サテンなど)はお避けください。

アップリケモチーフを取りつける前に、必ず共布でお試ください。

- お子様のご使用の際は、保護者の方が一緒についてお使いください。
- 繊維が切れやすい素材や、パンチング後に針あとが目立つ素材へのご使用はお避けください。
- 素材や布地の厚さなどにより、モチーフや羊毛のつきやすさ、裏面への出やすさが異なります。
- アップリケをした作品を洗濯するときは、ドライクリーニングか、ウール用洗剤を使用し、やさしく手洗いしてください。

針を交換する場合は……

別売の「フェルトパンチャー替針」シリーズをお買い求めください。

※ 出荷時に本体にセットされている針は、「フェルトパンチャー替針<レギュラー針>」です。

ご使用前に、パッケージ中面の「使い方」・「使用上の注意」を必ずお読みください。

▼製品に不都合な点がございましたら、お買上げ店名をご記入の上クロバー(株)「お客様係」まで現品をお送りください。代品をお送り致します。

**クロバー株式会社**  
〒597-0025 大阪府東成区中道3-15-5  
「お客様係」TEL.(06)6978-2277

MADE IN JAPAN

(針: MADE IN CHINA)

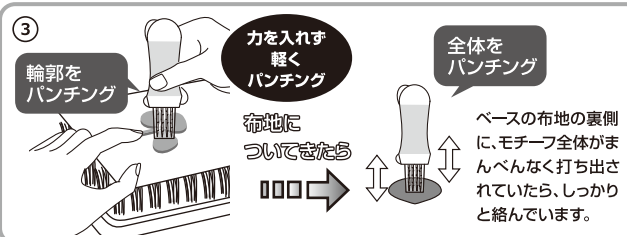
**ご使用前に……**

針には防錆油が付いています。そのまま  
ご使用になると、作品が汚れることがありますので、あらかじめ不慣れな柔らかい  
布地に数回パンチングして、防錆油を取り除いてください。

※ 先端に入っている防錆紙  
は、取り除いてください。

**使い方**

- ① 安全カバーのロックを外します。  
フェルトパンチャー  
とまる うごく  
※ ご使用にならない時は、必ず「とまる」にあわせて状態で保管してください。
- ② 「フェルトパンチャー用ブラシマット」にベースの布地をのせて、羊毛やアップリケのモチーフを配置します。
- ③ 羊毛やモチーフを指などで軽く押さえ、「フェルトパンチャー」で輪郭をパンチングしていきます。ベースの布地についてきたら、全体を均等にパンチングします。  
※ パンチング作業は、できるだけマットの中央で行ってください。



**ポイント**

針の穴あとが残りやすい布地にパンチングするときは、モチーフの大きさやパンチングする部分などにより、針の本数を減らしてモチーフの上だけをパンチングすると、ベースの布地があまり傷まず、きれいに仕上がります。

**使用上の注意**

- フェルティング以外の用途には、使用しないでください。
- アップリケをする前に必ず、共布で試してください。
- 保管の際は、必ず安全カバーを「とまる」の状態にして、幼児の手の届かない場所に保管してください。
- 本製品を長期間保管する場合は、針の防錆のため、ミシン油を含ませた布地をパンチングしてから保管してください。
- ロック機構や安全カバーが動かなくなったりした場合は、別紙の「フェルトパンチャーの掃除方法」をお読みください。

ご使用の際は、  
針先に十分注意してください。  
(針は大変鋭利なので、針先に触れないでください)

**● 針の交換について**

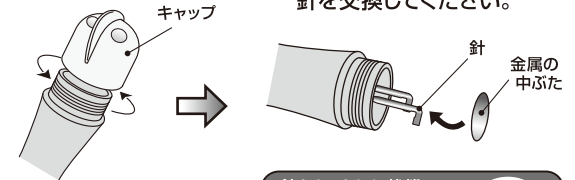
△ 注意

曲がった針をそのまま使用すると折れるので、新しい針に交換してください。

安全確保のため取り扱  
いにご注意ください。

※ 安全確保のため、針の交換は 必ず  
安全カバーを「とまる」の状態にして行ってください。

- ① キャップを開けます。
- ② 金属の中ふたを取り、針を交換してください。

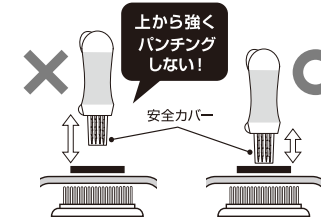


針をセットした状態

針を交換する場合は、別売のクロバー「フェルトパンチャー替針」をお買い求めください。

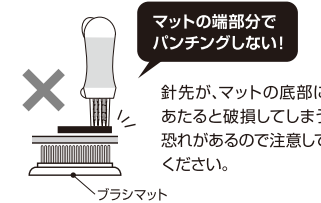
針の頭が重ならないようにして、必ず金属の中ふたを  
してください。

**針の破損防止のために**

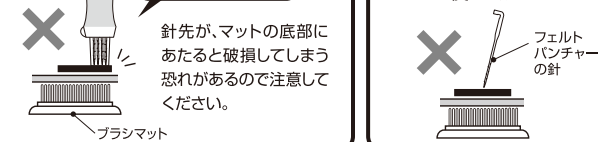


- 安全カバーがモチーフにかかる触れるぐらいの位置から軽くパンチングしてください。
- 真上から垂直にパンチングしてください。(斜めに刺すと針が折れやすくなります。)

- 別売のクロバー「フェルトパンチャー用ブラシマット」をご使用ください。



- 危険ですので、針だけでパンチングしないでください。必ず、針は「フェルトパンチャー」にセットしてお使いください。



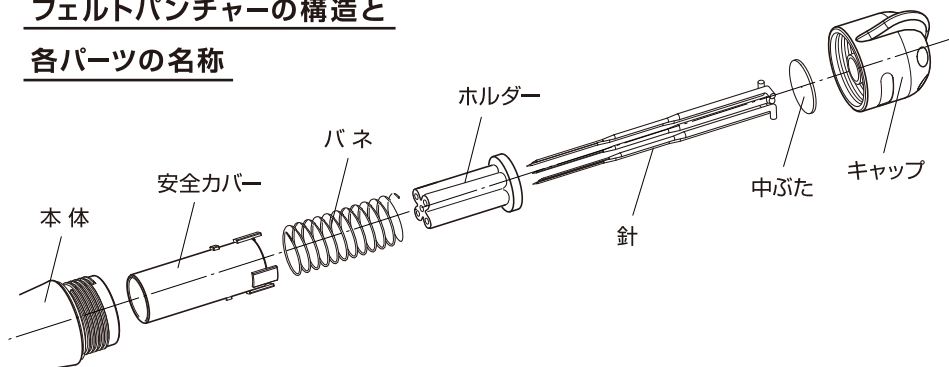
- 布地が硬く、軽い力でパンチングできない時は、布地の種類を選び直してください。

この説明書は大切に保管し、ロック機構や安全カバーが動かなくなってきたときにお読みください。

フェルトパンチャーは長期間使用すると、内部に繊維のクズがたまり、ロック機構や安全カバーが動かなくなる場合があります。その際は、下記の手順に従って、分解・掃除を行ってください。

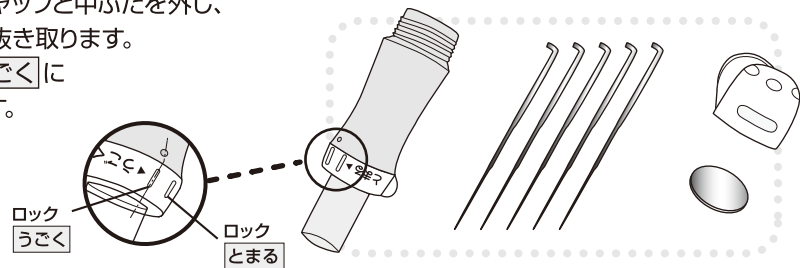
## フェルトパンチャーの構造と

### 各パーツの名称



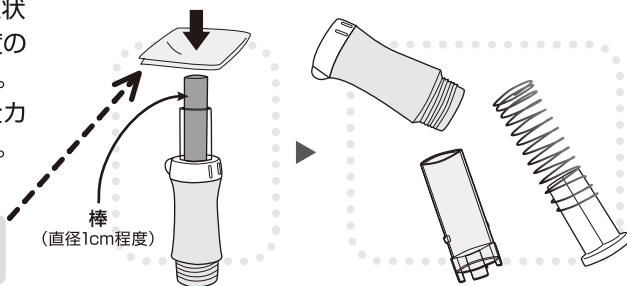
## 分解と掃除方法

本体からキャップと中ぶたを外し、針をすべて抜き取ります。ロックを「うごく」にしておきます。



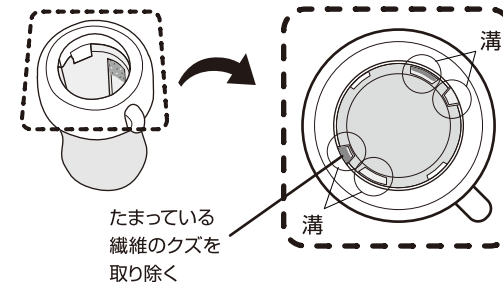
机の上で安全カバーを上にした状態で本体を立て、直径1cm程度の棒(サインペン等)を差し込みます。差し込んだ棒をたたくと、安全カバー・バネ・ホルダーが外れます。

折りたたんだハンカチなどをあててからたたいてください。



**⚠ 針先は大変鋭利なため、危険です。取り扱いには十分に注意してください。**

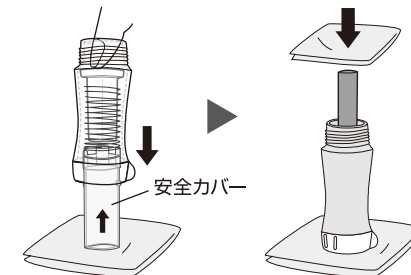
本体から安全カバー・バネ・ホルダーをはずし、内部にある4つの溝の端に、繊維のクズがたまっていないか確認してください。繊維のクズがたまっている場合は、細いものでかき出し取り除いてください。



繊維のクズを取り除いたら、ロックが「とまる」・「うごく」に合わせられるか確認します。次に、安全カバーの突起と本体内部の溝を合わせて取り付け、バネ・ホルダーの順に中に入れます。

ロックを「うごく」にした状態で安全カバーを下にして机の上を立て、安全カバーが隠れるまで本体を押し下げます。上から棒をあてがい垂直にたたくと、カチッと音がしてホルダーが本体にセットされます。

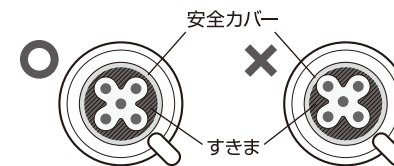
※ 安全カバーを押し下げ際に、ホルダーとバネが飛び出さないように注意してください。



ロックと安全カバーの動作を確認してください。

※ 次の場合、ロックや安全カバーが正常に動作しません。再度②～⑤の手順を行ってください。

- ・ 繊維のクズが十分に取り除かれていない場合。
- ・ ホルダーをセットした状態を真上から見て、右図のように、垂直でなく傾いた状態にセットされ、中央にきていない場合。(すきまがかたよっている場合)



▲ ホルダーをセットした状態を真上から見た図

ロックと安全カバーの動作を確認後、針・中ぶた・キャップをセットしてください。